

繰り返し学習
1回転目

繰り返し学習
2回転目

繰り返し学習
3回転目

導入編(10回)

基礎編

短答・論文式試験 基礎力養成編

短答・論文式試験 応用力養成編

短答・論文式試験 実力完成編(35回)

INPUT

スタートアップ講義 (全10回)

弁理士試験の学習をスタートするにあたって知っておく便利なことが盛りだくさんのコンテンツです。

■ここがポイント

短い時間で視聴することのできるコンテンツを豊富にそろえています。

【コンテンツ例】

- ①短答式試験の概要とその必勝法(試験制度)
- ②論文式試験(必須科目)の概要とその必勝法
- ③論文式試験(選択科目)の概要とその必勝法
- ④口述試験の概要とその必勝法
- ⑤理系のための法律入門①「条文の読み方」
- ⑥理系のための法律入門②「法律用語入門」
- ⑦私の講義の受講方法①(私の講義の特徴)
- ⑧私の講義の受講方法②(予習・復習編)
- ⑨私の講義の受講方法③(フォロー制度活用法)
- ⑩合格者座談会「H25合格者と講師との座談会」

※スタートアップ講義はWebSchoolのみで視聴することができます。
※本科生をお申込の方のみ視聴することができます。
※スタートアップ講義は各回30分程度の視聴し易い長さの動画となっております。

INPUT

基本講義(全26回)

弁理士試験全般を通じて使うことのできる「基礎知識=土台」を学習します。

■ここがポイント

- ①オリジナルテキスト「エレメンツ1～3」を使用
- ②弁理士試験に必要な知識と必要でない知識を明確に分ける
- ③毎回宿題(自宅課題)が出ます。
- ④宿題(自宅課題)の内容は担当講師(=担任)がチェックして、一人一人の進捗を確認します。

INPUT

短答逐条講義(全20回)

短答式試験に必要な知識を『条文』ごとに詳細に解説します。

■ここがポイント

- ①『条文の理解』に重きを置いた講義
- ②短答式試験に必要な知識の広さ・深さをお教えします。

OUTPUT+解説講義

短答実力テスト(全7回)

短答式試験の基本的な問題演習+解法テクニックを習得します。

■ここがポイント

- ①短答式試験の基本的な問題を演習します。
- ②短答式試験特有の解法テクニックも伝授します。

INPUT

論文基礎講義(全14回)

論文式試験に必要な知識のインプットと論文答案の書き方の基本をマスター

■ここがポイント

- ①論文答案の書き方の基本テクニックを伝授します。
- ②論文式試験に必要な知識の広さ・深さをお教えします。

OUTPUT+解説講義

短答的中答練(全10回)

厳選された本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認して本試験までの学習計画を確定します。

★短答的中答練の前半6回は
法域別に実施します。

INPUT

短答本試験徹底分析講座(全5回)

『敵を知る講義』=過去3年分の短答式試験を徹底的に分析します

■ここがポイント

- ①「試験に合格するために何を」「どのように」「どれくらい」「いつから」すればよいのかを解説します。
- ②平成24年から平成26年までの本試験を徹底的に分析します。

OUTPUT+解説講義

論文応用答練(全10回)

これまでに培った「知識」を活用して難度の高い「事例問題」に対する論文答案の作成スキルを習得します。

■ここがポイント

- ①「事例問題」に対する答案作成スキルをマスターすることができます。
- ②基本的な「事例問題」の良問を解くことで、本試験レベルの問題に対する対応力を身につけることができます。

INPUT

論文上級講義(全14回)

「論文答案の書き方」+「必須知識の再INPUT」+「過去問の答案構成」の3部構成で実力UP

■ここがポイント

- ①できているようで「できていない」「論文答案の書き方」を伝授します。
- ②論文試験で必要となる知識を再度確認し、INPUTします。
- ③3年分の過去問の答案構成演習を実施し、過去問の傾向をしっかりと分析します。

OUTPUT+解説講義

■ここがポイント

- ①厳選された本試験予想問題を「前半6回は法域別」「後半4回は全範囲」から出題します。
- ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

★短答的中答練の後半4回は
全範囲から出題します。

OUTPUT+解説講義

短答式弱点克服演習(全10回)

本試験で得点差が付き易い部分の問題演習+解説講義で実力UP

■ここがポイント

- ①短答式試験の「得点源」となる問題・「得点差をつけられる」問題を中心に出版します。
- ②詳細な解説講義で解法のポイントをマスターすることができます。

OUTPUT+解説講義

論文的答練(全12回)

厳選された本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認して本試験までの学習計画を確定します。

■ここがポイント

- ①厳選された本試験予想問題を出題
- ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

INPUT

短答ファイナルチェック (全2回)

本試験予想論点を総ざらいします。短期間で得点UPするための秘訣満載です。

■ここがポイント

- ①本試験出題予想論点を短時間で確認
- ②短期間で集中的に頭に詰め込む必要のある「暗記ポイント」も絞り込んで紹介します。
- ③試験直前期のトピックも交えた最新情報をお伝えします。

OUTPUT+解説講義

論文直前答練(全8回)

これまでの演習等で多くの受験生が弱点としている論点を中心に出版します。

■ここがポイント

- ①多くの受験生が苦手としている分野・得点が伸び悩む分野を中心に出版します。
- ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

OUTPUT+解説講義

短答式全国公開模試 (全3回)

本試験と同様の時間帯・形式で実施する模擬試験です。

■ここがポイント

- ①本試験実施時間と同様の時間帯で実施
 - ②本試験実施形式と同様の形式で実施
 - ③毎年本試験の論点的中統出の模擬試験となります。
- ⇒的中情報の詳細はP12～13をご確認ください。

★実施予定★

2015年3月(予定):第1回
2015年4月(予定):第2,3回

INPUT

論文ファイナルチェック(全3回)

本試験予想論点を総ざらいします。短期間で得点UPするための秘訣満載です。

■ここがポイント

- ①本試験出題予想論点を短時間で確認
- ②試験直前期のトピックや直前に実施された短答式試験の情報も交えた最新情報をお伝えします。

OUTPUT+解説講義

論文式全国公開模試(全3回)

本試験と同様の時間帯・形式で実施する模擬試験です。

■ここがポイント

- ①本試験実施時間と同様の時間帯で実施
 - ②本試験実施形式と同様の形式で実施
 - ③毎年本試験の論点的中統出の模擬試験となります。
- ⇒的中情報の詳細はP12～13をご確認ください。

★実施予定

2015年4月(予定):第1回
2015年6月(予定):第2回・3回